

2018年度 自己評価（改善点と課題）

☆ 保育所施設の中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標（ビジョン）を職員全体で明確にしていく。

☆ 長期的に勤務する職員が多いため日々の話し合いの中で保育の悩み等を解決してきたが、保育所の中に相談窓口を組織内に設置するなど、職員がより相談しやすい工夫をしていく。

☆ 保育所全体の目標だけでなく、職員一人ひとりの目標（目標項目、目標水準、目標期限）の設定を、明確にして確認を行う仕組みを構築するようにしていく。

☆ 園内職員は、子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心についての取り組みを行っているが保護者への取組みが少ない。

2019年度に向けて

所内研修

2018年度の所内研修目標 心と身体を積極的に動かし「しなやかな身体」と「体幹」を培うについての取り組みは、研修保育などで保育士同志の連携、情報交換等を交え1年間継続的に取り組むことが出来た。次年度も運動・リズムに取り組む

キャリアパス

資格取得時期が、年度の中盤から後半に向けてあるため職員全員が研修参加することは不可能である。次年度は、有給を利用し(シフトによっては、指定休使用)し自らの資格取得に積極的に取り組む。

※ 職員一人ひとりが自分の求められている姿をキャリアパス計画表等で再確認する。

働き方改革に向けて

仕事は、終業時間までに業務が終了するようにワークシェアリングする。全員で早く帰れる体制をつくる。

ノー残業デーの徹底及び休憩時間は、リーダーが管理責任を負う。休憩室を決める(1階.2階1部屋ずつ使用)。

パソコン、ネットワークでの発信

緊急メール実施
ICで登降所管理

災害、緊急時の体制について

2018年度に初めて実施した保護者を交えての緊急避難訓練では、色々な課題がたくさんあることに気付くことが出来た。2019年度も改善点に取り組み保護者を交えて取り組む。※引き渡しカードの重要性について再度説明が必要である。

大災害時の避難場所の手城小学校と連携し、次年度も合同避難訓練の実施に取り組む。